



【テーマ聖句】

「永遠の命とは、唯一のまことの神であられるあなたと、あなたのお遣わしになったイエス・キリストを知ることです」(ヨハネ 17:3 新共同訳)

2020年1月18日(土)

祝福の安息日

最終日の安息日は、「10日間の特別祈禱」を通して、神様があなたとあなたの教会にしてくださったことを喜び祝う大切なときです。神様の恵みと聖霊の大きな力の記念として、この日を計画しましょう。

10日間、教会員一人ひとりがどのように聖霊の注ぎを体験したかをめい想してみましょ。この安息日は、主が何をしてくださったか、現在何をしておられるか、そして将来何をしてくださるかを喜び祝う機会となります。

会衆の必要は教会によってさまざまです。教会のリーダーと相談し、あなたの教会に向けた独自の計画をたてましょ。祝福の安息日の礼拝形式について、代表的な一例を記載します。

【礼拝形式の例】

10:30 礼拝の開会賛美

10:45 歓迎・礼拝の趣旨の発表

11:00 感謝の賛美(例:希望の讃美歌 108番「力の主を」)起立して賛美する。

11:05 起立したまま交読文(詩編 34 編)

11:10 牧会祈禱。牧師や長老が主導する。これは感謝の祈りであって、願いや嘆願は行わない。ひざまずいて祈る。

11:15 罪の告白の祈り。着席したまま祈りに参加。長老が祈りをリードし、信徒は黙禱の姿勢で祈る。長老が I ヨハネ 1:9にしたがって、神が祈りを聞き、罪を赦してくださることに感謝を捧げる。

11:20 献金をささげる。献金後に、神の備えに感謝し、什一と諸献金の祝福を願う祈りを行う。

11:25 特別讃美歌。「祈り」のテーマに沿った曲を選ぶ。

11:30 牧師または長老が、わたしたちの生活における祈りの重要性についての短いメッセージをする。

11:40 牧師または長老が、特別な祈りの重荷を負っている人がいれば前に出てくるように促す。彼らが望めば、重荷を公に分かち合っ

てもらう。次に、会衆一同で神様に嘆願と願いを祈り求める。終わったら席に戻ってもらう。

11:55 特定の奉仕や計画に対する祈り。

例:

地域のため、イエス様を必要とする人のため、地域のキリスト教系の学校や青年伝道のため、教区や世界の教会のため、結婚や家族のため。それぞれのテーマは、実際にその分野で奉仕に携わっている人に祈ってもらうこともできます。

例:

学生が自分が通う学校のために祈る、子ども食堂のために、実行委員が祈るなど。

12:10 献身の閉会賛美(希望の讃美歌の『献身』の曲などから)

12:15 祝禱

プログラムに使える他のアイデア

- ◆ 答えられた祈りについての証し(一人3分)
- ◆ 小グループに分かれて祈る
- ◆ 今後の祈りの集会についての発表
- ◆ 「祈り」についての子供のおはなし
- ◆ 青年によるプレゼンテーション